

令和5年度第4回目黒区地域包括ケアに係る推進委員会会議録

名 称	令和5年度第4回目黒区地域包括ケアに係る推進委員会
日 時	令和6年3月4日（月） 午後6時30分～8時09分
場 所	目黒区総合庁舎2階 大会議室
出席者	<p>（委員） 小林会長、中島副会長、武田委員、池田(泰)委員、立柳委員、佐藤委員、池田(謙)委員、山崎委員、高井委員、城市委員、小林委員、水野委員、小林委員、石黒委員</p> <p>（区側） 橋本健康福祉部長、田邊健康福祉計画課長、香川健康推進課長、保坂福祉総合課長、相藤介護保険課長、高橋高齢福祉課長、田中障害施策推進課長兼障害者支援課長</p> <p>（包括） 北條北部包括支援センター所長、廣川東部包括支援センター所長、久保田中央包括支援センター所長、酒井南部包括支援センター所長、岩崎西部包括支援センター所長</p>
傍聴者	1名
配付資料	<p><事前配付資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 令和6年度目黒区地域包括支援センター年間事業計画について ・資料2 令和5年度地域ケア推進会議について ・資料3 地域密着型サービスにかかる人員、運営等の基準の改正について ・資料4 指定地域密着型サービス事業所の指定等の状況（令和5年11月～令和6年1月） <p><当日配付資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料5 令和5年度目黒区地域密着型サービス整備事業者の募集結果及び令和6年度の募集について ・資料6 目黒区地域包括ケアに係る推進委員会の位置付けの変更について ・資料7 目黒区保健医療福祉計画改定案について <p><参考資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「目黒区地域包括ケアに係る推進委員会構成員」名簿 ・座席表
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>2 議 事</p> <p>（1） 令和6年度目黒区地域包括支援センター年間事業計画について（報告事項）</p> <p>（2） 令和5年度地域ケア推進会議について（報告事項）</p> <p>（3） 地域密着型サービスにかかる人員、運営等の基準の改正について（報告事項）</p> <p>（4） 指定地域密着型サービス事業所の指定等の状況（令和5年11月～令和6年1月）（報告事項）</p> <p>（5） 令和5年度目黒区地域密着型サービス整備事業者の募集結果及び令和6年度の募集について（報告事項）</p> <p>（6） 目黒区地域包括ケアに係る推進委員会の位置付けの変更について（情報提供）</p>

	<p>(7) 目黒区保健医療福祉計画改定案について (情報提供)</p> <p>3 閉 会</p>
会議結果	<p>1 議事に関する結果</p> <p>(1) 令和6年度目黒区地域包括支援センター年間事業計画について (報告事項) 資料1「令和6年度目黒区地域包括支援センター年間事業計画について」の内容を確認し、報告を受けたものとした。</p> <p>(2) 令和5年度地域ケア推進会議について (報告事項) 資料2「令和5年度地域ケア推進会議について」の内容を確認し、報告を受けたものとした。</p> <p>(3) 地域密着型サービスにかかる人員、運営等の基準の改正について (報告事項) 資料3「地域密着型サービスにかかる人員、運営等の基準の改正について」の内容を確認し、報告を受けたものとした。</p> <p>(4) 指定地域密着型サービス事業所の指定等の状況 (令和5年11月～令和6年1月) (報告事項) 資料4「指定地域密着型サービス事業所の指定等の状況 (令和5年11月～令和6年1月)」の内容を確認し、報告を受けたものとした。</p> <p>(5) 令和5年度目黒区地域密着型サービス整備事業者の募集結果及び令和6年度の募集について (報告事項) 資料5「令和5年度目黒区地域密着型サービス整備事業者の募集結果及び令和6年度の募集について」の内容を確認し、報告を受けたものとした。</p> <p>(6) 目黒区地域包括ケアに係る推進委員会の位置付けの変更について (情報提供) 資料6「目黒区地域包括ケアに係る推進委員会の位置付けの変更について」の内容を確認し、情報提供を受けたものとした。</p> <p>(7) 目黒区保健医療福祉計画改定案について (情報提供) 資料7「目黒区保健医療福祉計画改定案について」の内容を確認し、情報提供を受けたものとした。</p>
<p>議事に関する資料説明の概要及び主な発言要旨</p> <p>1 令和6年度目黒区地域包括支援センター年間事業計画について (報告事項)</p> <p>(1) 議事に関する資料説明の概要 (地域包括支援センター所長) 資料1に基づき説明</p> <p>(2) 主な発言要旨</p> <p>○委員 中央包括支援センターの「本人ミーティング」について伺う。</p> <p>○包括 認知症当事者同士で、日頃の困りごとや、楽しいこと等を話し合う機会を通して、ご本人の気持ちを発信するような機会となっている。</p> <p>○委員 中央包括支援センターの事業計画にある「通いの場 MAP」「介護予防普及啓発講座」の具体的な内容について、また、碑文谷地域での新規出張相談会について伺う。介護予防普及啓発講座は、将来的に区民の介護予防につながるよう、開催場所の居住者だけで</p>	

なく、地域の方にも開放してはいかがか。

- 包括 碑文谷地域は中央包括支援センターの事務所から最も遠く、これまで出張相談会等を実施できておらず、住民の方から要望があり、新規に取り組むこととなった。

「通いの場 MAP」は、介護予防に特化した内容で、当初は地域の自主グループ活動を「見える化」して情報提供したいと作成した。今年度は、地域別にわかりやすくさらに改訂版を作成したので、地域のケアマネジャーに活用していただいたり、窓口で配布したりして周知に努めたい。

「介護予防普及啓発講座」は、担当区域内の高齢者住宅5か所で隔月開催し、手ぬぐい体操を行ったり、介護予防や熱中症予防等、身近で役立つ内容の講座を開催したりしている。今後も積極的に取り組んでいきたい。

- 会長 事業計画の運営方針の地域包括ケアシステムの構築方針と、重点的に取り組むべき事項の総合相談支援機能の強化、両方を項目に掲げているが、地域包括支援センターの運営方法がこの間変わってきたのか。

家族へのアプローチ、アウトリーチが非常に重要になってきている。居場所づくりは社会福祉協議会の分野でもあるが、地域包括支援センターの業務でもあるのか。

- 包括 現在、本人支援だけではなく家族全体への支援ケースや、家族へアプローチしないと本人にたどり着かないケースも増えている。若い世代にも相談窓口の周知や介護に関する情報発信にも取り組み、支援につながるよう努めていく。

また、一般的に退職後の男性の居場所がないといわれているが、土曜日に実施している「しじゅうから（多世代向け居場所づくり）」に知的好奇心の高い男性が多く参加されており、新たな取り組みを進めていきたい。

地域の中で地域を見守るしくみづくりを目指し、サロン立ち上げ、参加者からの地域ニーズや社会資源の把握を試み、まずは地域内で住民同士や住民と地域包括支援センターとの顔の見える関係づくりのため、居場所づくりにも取り組んでいる。

- 包括 最近サロンの立ち上げ希望者が多く、地域包括支援センターだけでは難しいので、コミュニティ・ソーシャルワーカー及び生活支援コーディネーターと連携して立ち上げを支援している。また既存のサロンを訪問して相談を受けたり、介護予防や消費者被害等の講話をしたりして、サロン活動に貢献している。

- 会長 介護予防の自主グループ立ち上げ支援の記載があるが、自立した運営は可能なのか。

- 包括 区の介護予防事業の方でも自主グループ立ち上げ支援を行っており、地域包括支援センターでも体操教室を開催している。参加者同士の顔のみえる関係づくりを目指し、1年後に自主グループとして活動できるよう、参加者全員で考えながら進めていかれるよう、後方支援に努めている。

- 包括 自主グループの活動支援は、立ち上げ後も人間関係や新たな発生課題の調整等、活動が継続できるよう後方支援としてかわり続けている。

- 包括 地域内のお寺の施設を包括支援センターがお借りして、民生児童委員が中心となってボランティアセンターもかわりサロンを開催している。また、介護予防事業参加者の自主グループは、活動が安定するまでは包括支援センターが支援している。

- 会長 心身の機能が衰えていく段階ごとに利用可能なサービスや居場所を提示できるものがあるとよい。
- 委員 参加や利用は自己決定がよいが、サービスや居場所等の情報発信をお願いしたい。
- 包括 心身の段階に合わせて自己決定でサービスを選択していくのが本来の姿であるが、我々専門職が様々な資源の利用を提案しないと、サービスをうまく使えない方が増えているように感じているので、今後はさらに啓発活動が必要だと思っている。
地域包括支援センターも設置から18年目を迎え、行政の各所管との垣根も低くなり、連携しやすくなっている。
- 委員 地域包括支援センターとは、生活支援体制整備事業の生活支援コーディネーターやボランティアセンターとともに、居場所づくりやサロン立ち上げで協働している。生きづらさを抱える方の居場所や子どもの居場所づくりについて、また介護予防の段階よりもお元気な方についての相談はコミュニティ・ソーシャルワーカーが受けることが多い。
- 会長 事前に情報を得ていると、安心して参加できる。また、各機関が役割分担を合意して取り組んでいるのは心強い。
- 委員 区民に地域包括支援センターの情報が届くよう発信の仕方を工夫し、また、区民がサービス等を選択ができるように専門家が関わり、サポートしていくことが必要である。そして、単発ではなく継続的に関わり、必要な時に助言ができるのが望ましい。
- 委員 介護が必要になったときに突然サービスを利用しようとするとう抵抗を示される方が多い。介護予防もしくはそれ以前の段階で、介護サービス提供者と顔が見える関係が築けていると、知っている仲間に支えてもらえると円滑なサービス利用につながる。そのような街づくりを目指せたらと思っている。
- 会長 1 目黒区地域包括支援センター年間事業計画については、報告を受けたものとする。

2 令和5年度地域ケア推進会議について（報告事項）

（1）議事に関する資料説明の概要

（福祉総合課） 資料2に基づき説明

（2）主な発言要旨

- 会長 会議の位置づけについて確認する。
- 区側 地域ケア個別会議は各地域包括支援センターが主催し、地域ケア推進会議は地域ケア個別会議で抽出された課題をもとに、区が主催する会議で包括的に意見を伺い、地域包括ケアに係る推進委員会に報告することとなっている。
- 会長 認知症は、地域の中でのつながりの有無が、症状や支援につながるきっかけに大きく影響し、孤立と表裏一体的な部分もある。男性も知人がいると地域とつながりやすい。
- 委員 聴力が低下すると話がかみ合わず、認知症が疑われる状況になりがちである。
- 委員 区が開始した補聴器の購入費助成について、説明をお願いする。

- 区側 昨年11月から所得税の非課税の高齢者に対して、補聴器の購入費助成を開始した。一人当たり上限5万円、開始3か月で約50件の申請があり、講演会の開催等、周知に努めているが、反響が大きい。今後も難聴の方が補聴器を使用することで会話を楽しめるようになり、地域とつながっていくことを期待している。
- 委員 補聴器は、認知症になると使えないことがある。補聴器の購入助成だけでなく、継続して使用できるよう、補聴器教室等のフォロー体制があるとよい。
- 委員 「聞こえない」と言っても、聴力低下により聞こえない場合と、理解力低下で聞こえないと思っている場合もある。補聴器の相談があった際には、認知症のチェックにつながるとうい。
- 委員 民生児童委員で関わる方で認知症の方も多し。家族が遠方でたまに会うだけという方は家族が変化に気づきにくく、支援につながるのに時間がかかることが多い。一方で、近所のコンビニ等からは対象者の変化について連絡があることも多い。
- 会長 2 令和5年度地域ケア推進会議については、報告を受けたものとする。

3 地域密着型サービスにかかる人員、運営等の基準の改正について（報告事項）

（1）議事に関する資料説明の概要

（介護保険課） 資料3に基づき説明

（2）主な発言要旨

○委員 なし

○会長 3 地域密着型サービスにかかる人員、運営等の基準の改正については、報告を受けたものとする。

4 指定地域密着型サービス事業所の指定等の状況（令和5年11月～令和6年1月）（報告事項）

（1）議事に関する資料説明の概要

（介護保険課） 資料4に基づき説明

（2）主な発言要旨

○委員 なし

○会長 4 指定地域密着型サービス事業所の指定等の状況（令和5年11月～令和6年1月）は、報告を受けたものとする。

5 令和5年度目黒区地域密着型サービス整備事業者の募集結果及び令和6年度の募集について（報告事項）

（1）議事に関する資料説明の概要

（高齢福祉課） 資料5に基づき説明

(2) 主な発言要旨

- 会長 現状として、グループホームや小規模多機能型居宅介護（以下、小多機という。）などのニーズに対して対応できているのか。
- 区側 現在、グループホームは30ユニットが整備されており、その整備率は23区の平均よりも高い状況となっているが、まだ足りないものと認識している。第9期介護保険事業計画では6ユニットの整備を目標としており、令和6年度も募集事業を行う。
また、小多機は6か所、看護小規模多機能型居宅介護は2か所が整備されているが、こちらも、若干不足しているため、第9期介護保険事業計画では2か所の整備を目標としている。
- 委員 応募がないのは事業者が土地の確保をできないからなのか。
- 区側 お見込みのとおりである。また、昨今の物価高等に伴い工事費も上昇しているため、整備費補助金も増額しているものの、家賃などの運営経費などで採算が合わないところもあると認識している。
- 委員 ニーズがあるのは認知症対応型通所介護（認知症デイサービス）だと思う。グループホームは利用料金と折りが合わない方もいる。小多機については訪問サービスが充実できていない、また、宿泊は1泊5000円と割高である。在宅時のサービスの充実が図れないので、小多機の利用を選択できない。制度とサービス内容の実態が乖離していると思われる。
- 会長 5 令和5年度目黒区地域密着型サービス整備事業者の募集結果及び令和6年度の募集については、報告を受けたものとする。

6 目黒区地域包括ケアに係る推進委員会の位置付けの変更について（情報提供）

(1) 議事に関する資料説明の概要

（介護保険課） 資料6に基づき説明

(2) 主な発言要旨

- 会長 位置づけ変更に伴い変わることはあるのか。
- 区側 位置付けの変更は目黒区全体の流れであるため実施するものである。今後は条例に基づく附属機関という形になるため、より皆さんの立ち位置が明確になる。
- 会長 発言等が窮屈になるのではないかと。
- 区側 そのようなことはない。議事録についても、皆さんに内容をご確認いただいたうえで資料として残している。
- 会長 6 目黒区地域包括ケアに係る推進委員会の位置付けの変更については、情報提供を受けたものとする。

7 目黒区保健医療福祉計画改定案について（情報提供）

(1) 議事に関する資料説明の概要

(健康福祉計画課) 資料7に基づき説明

3月9日(土)めぐろ地域づくりフォーラム「相互に支え合う地域づくり」、3月20日(水・祝日)「助けてといえる社会づくり」を開催予定。

(2) 主な発言要旨

○委員 なし

○会長 7 目黒区保健医療福祉計画改定案については、情報提供を受けたものとする。

8 その他

(1) 主な発言要旨

○区側 現在の委嘱期間中の委員会は今回が最後となる。

次年度当初に、各団体宛に委員の推薦を依頼し、次回の委員会は、新委嘱委員に出席をいただき、6月に開催を予定している。詳細については、改めて連絡する。

以 上